

会 議 記 録

高松市附属機関等の設置、運営等に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	平成28年度高松市人権施策推進懇談会
開催日時	平成28年10月27日(木) 午前10時～
開催場所	高松市役所 4階 会議室
議 題	(1) 人権教育・啓発に係る施策の推進状況について (2) その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	山下会長、松本副会長、浅田委員、大西委員、姜委員 新盛委員、谷委員、PAGE T.委員、前田委員 矢野委員、山本委員 (欠席7名)
傍 聴 者	0人 (定員5人)
担当課及び 連絡先	市民政策局 人権啓発課 (Tel839-2292)

会議経過及び会議結果

【会議の経過】

議題 (1) 人権教育・啓発に係る施策の推進状況について

事務局より (案) 説明

委員からの御意見、御質問

【委 員】

子どもの人権課題の児童家庭相談事業について、平成27年度実績と比較して目標値が減っているが、これは改善されたということか。

【事務局】

この目標値は、平成28年度を最終目標として設定した既存の計画の中で定められたものである。来年3月に改めて事務事業評価の中で、現在の実績値を配慮した目標値を設定し、平成30年度の目標値をお示しすることとしている。

【委 員】

障がい者の人権課題の総合的な学習の時間活性化推進事業の平成27年度実績が少ないように思う。もう少し障がい者と触れ合う場があれば障がい者に対し、やさしく接することができるのではないか。何か取組は実施しているのか。

【事務局】

障がい者に触れ合える、理解をするということが大事であり、より理解を深めるような取組を実施していくよう担当課とも協議するとともに、目標値設定については、学校側と協議し

会議経過及び会議結果

てまいりたい。

なお、目標値設定については、年度末までということにしているので、こういう目標設定の仕方が良いのではないかというアドバイスをいただければ、担当課とも協議して、よりよい目標を検討したい。

【委員】

先日、某小学校で聾学校との運動会と給食の交流があった。

当たり前前の交流を学校行事の中で普通に組み込むことがなされているのかどうかかわからないが、障がい者とかハンデキャップとかは生まれた時から共に暮らして普通にならないと大人になって知識だけで理解するのは非常にハードルが高い。体で体験するのは大事である。全ての人権につながっていくのではないか。

【人権教育課】

総合的な学習については、地域性を生かし、学校の近くに高齢者施設、障害者施設などがあれば、学校で工夫して取組を行うなどしている。障がい者についても、各学校の中にも特別支援学級があるので、学校内で児童同士の交流を深めることも趣旨に資する内容であるかと思う。学校行事の中で工夫しながら取り組んでいる。

【委員】

個別問題を中心に整理しようとしているが、整理の仕方の視点から意見を申しあげたい。

個別に問題の進捗状況と言っていることよりも、一つの問題を取り上げて多方面から見て、どういうレベルで進捗しているのかのチェックが必要ではないか。生活の中で根ざしたことがちゃんとできているかどうかをチェックしないといけないのに、数字だけを並べて、できている、できていないの議論の仕方の良いのだろうか。

もっと視点を変えた所から見ると進捗度の点検ということ、全部押しなべて同じように進捗していくことは考えなくても良いのではないか。今年はこのテーマ、次の年は別のテーマで進捗状況を管理すると、一つから深めていくこともできる。手法を工夫してみることも必要ではないか。

【会長】

色々な指標があるが、これは一つの把握の仕方であって、これで全て終わりではない。量的な問題と質的な問題はプラスαしないといけないが、この資料はこれで意味があると思う。

会議経過及び会議結果

【事務局】

御指摘のように、活動の量の問題と品質の問題とがある。そこで、目標を設定して事業の進行管理をしていくのは行政の中で広まっている手法であるが、本来は品質と量というところで施策の評価がでてくるので、質をどう評価するのが難しいところがある。

人権問題の解決を図るうえでの施策について、質的な評価をどういう手法をもってすればいいのかというところについて、例えばこういう方法論でやればという御意見をいただければと思う。

また、今日、お示ししたのは総合的な提案になっている。今後、懇談会で協議いただく中身として、過去一年振り返った時に、非常に重大な人権問題等が発生した場合に、その事案について説明をし、御意見をいただくなど、今後、事務局がお諮りする中身に、適宜、具体的な事案を取り上げるようにしたいと思う。

【委員】

登録型本人通知制度について、目標値をどのように捉えているのか。平成30年度で4,300人、これで良いと考えているのか。

【事務局】

委員の御指摘の中で登録数の問題、市の職員、正規が3千数百人いる中で、この目標でいいのかとの御指摘と理解しているので、改めて目標値について検討したい。

議題（2）その他

事務局より次の項目内容について説明

- ・「人権立県香川」の実現に向けた市への提言について
- ・ヘイトスピーチについて
- ・部落差別の解消の推進に関する法律案について
- ・部落地名総鑑（復刻版）について

委員からの御意見、御質問

特になし